

公表 事業所における自己評価総括表

事業所名	En.療育ラボさいたま浦和スタジオ		
保護者評価実施期間	2026/02/01 ~		2026/02/28
保護者評価有効回答数	(対象者数) 14	(回答者数)	8
従業者評価実施期間	2026/02/01 ~		2026/02/28
従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
事業者向け自己評価表作成日	2026/03/01		

分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ひとりひとりのニーズに合わせ、ABA(応用行動分析)を利用したプログラム療育。	・問題行動への適切な対処法を導き出すためのABC行動分析の取り組み。 ・一つの課題を細分化し、スモールステップで進めながら成功体験を重ね、自己肯定感の向上とチャレンジ精神の向上を図っている。	・与えられた課題が難しいときには、お子様に寄り添いながらポジティブな声かけや、苦手な動作を補助するなどの手助け(プロンプト)をする。
2	・お子様のがんばりを見逃さない褒めて伸ばしていくポジティブな声掛け。 ・苦手な事や難しい課題にも楽しく取り組んでいけるよう、お子様ひとひとりに合った興味からの促し。	・他児や療育士と関わりやすい環境と関係性を育み、SSTを行うことによって、お子様の居場所となり社会性を育めるよう支援を行っている。	・お子様の発達段階や個性に応じた難易度の活動を設定する。 ・どんな些細な事でもこまめに褒め、褒めるチャンスを見逃さず、自己肯定感と挑戦心の向上を促す。
3	・お子様の状況に応じて、個別や集団で療育を行っている。	・季節行事に応じて活動プログラムの設定を行っている。	・大人数でのイベントや外部でのイベントを企画する。 ・設備の点検やアップデートを定期的に行い、活動の充実化を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	収納スペースが少なく、物を置くスペースを考慮しないとイケない。	・療育設備や事業所の間取りなどによって、療育道具などのスペース共有が難しい場面がある。	整理や収納アイテムを買うなどの工夫を進める事で、より安全で整った環境づくりを行っていく。
2	・入退室時における道路などの注意。	・大通り沿いの1階にある施設ということもあり、入退室時の自転車の交通状況や道路の飛び出しなどの注意が必要である。	・入退所時における声掛けなどの注意喚起、飛び出し防止の鍵の設置(子供が届かない所に鍵を設けている)。
3	・新築の為、マップアプリで住所を検索すると違う出入口に案内されてしまう時がある。	・新築マンション内の施設ということもあり、マップで住所を検索するとマンションの別出入口の方に誘導されてしまう時がある。実際は大通り沿いが路面施設の出入口である。	・マップアプリの会社に問い合わせしている。